

木星可視光反射率のモニター観測

Monitoring observation of Jupiter at visible wavelengths

竹内 覚 [1]; 牛崎 由香梨 [2]

Satoru Takeuchi[1]; Yukari Ushizaki[2]

[1] 福大理地球圏; [2] 福大・理・地球圏

[1] Earth System, Fukuoka Univ; [2] Earth System Sci. Fukuoka Univ

長年の観測から木星大気は常に変化していることが知られているが、この大気の状態とその変動を定量的に調べるために、我々は小型望遠鏡、可視 CCD と干渉フィルターの組合せで、木星の可視光モニター観測を始めた。その最初の結果について報告する。

フィルターの波長は、メタン吸収帯を考慮して 890, 724, 609nm、および比較のためにメタン吸収が無い 750nm を選んだ。一次処理の後、ガリレオ衛星を利用して反射率較正を行った。724nm と 750nm の画像から比演算画像を作り、メタン吸収の様子とそれから推測される雲の高度について報告する。